福島民報　平成30年5月21日（月）

市民一丸もてなし

太平洋・島サミット

いわき

いわき市のスパリゾートハワイアンズなどで十八、十九の両日開かれた第八回太平洋・島サミットでは、市民らが趣向をこらしたプログラムで各国・地域の首脳らをもてなした。会場の様子を写真で紹介する。

横断幕 サミット会場のスパリゾートハワイアンズで手作りの横断幕を手に、各国・地域の首脳らを歓迎する植田中の生徒ら

応援隊 各国・地域の首脳のお出迎えや地元プログラムの補助などサミットの運営を支えた高校生応援隊

県若鳶連合会 ワンダーファームを視察した各国首脳に、さすまた乗りを披露する県若鳶連合会の会員。伝統のはしご乗りでも数々の技を見せ、会場を沸かせた

特別ショー 首相主催の晩さん会後に催された特別ショー。フラガールが参加国の民族衣装を着て踊り花を添えた

シンポジウム アクアマリンふくしまでのシンポジウム。首脳夫人らは館内を視察し、海洋資源の保護などに理解を深めた

福島民報　平成30年5月21日（月）

島国文化に人の輪広がる

いわきで太平洋・島まつり

十九日にいわき市常磐湯本町で開かれた「太平洋・島まつり2018inフラのまち湯本」では、第八回太平洋・島サミットを盛り上げる多彩なイベントが繰り広げられた。

特設ステージでは、サモアのラグビー高校生選抜チームが同国の伝統舞踊「ササ」を披露。いわき湯本温泉のおかみらは、華麗なフラダンスを踊った。

会場にはサミットに参加している国々を紹介するパネル展示や物品販売コーナーがあり、多くの来場者が楽しみながら島国の文化に理解を深めた湯の街「復興」学園祭実行委員会などの団体が出店し、飲食ブースを設けて会場を盛り上げた。

湯の街「復興」学園祭実行委員会も出店し、祭りの盛り上げに貢献した

華麗なフラダンスでいわきの元気と復興をアピールしたいわき湯本温泉のおかみ

福島民友
平成30年5月21日（月）

いわき・相双　HOMETOWN

市民支えた島サミット

PALM8 いわき2018

カメラトピックス

前回に続き2回連続のいわき市開催となった「太平洋・島サミット」では、18、19日の2日間、市民らが同市を訪れた島しょ国の要人らを歓迎した。サミットの様子を写真で紹介する。

▲18日午後、メイン会場のスパリゾートハワイアンズに到着した、共同議長国サモアのツイラエパ首相を囲む子どもたち。約250人が各国の首脳陣を出迎えた

海洋シンポジウムで発表するいわき海星高の大山咲月さん㊨と鈴木愛子さん。いわきの水産物や風評の現状について各国首脳夫人に紹介した＝アクアマリンふくしま

各国・地域をイメージした衣装を着て特別公演を披露したフラガール。首脳らを前にステージを華やかに彩った

地元プログラムの中で披露された日本伝統の梯子乗り。県若鳶連合会6支部のメンバーが繰り出す妙技に各国の首脳らが見入った＝ワンダーファーム

知事主催昼食会では、県内の料理人と農家らでつくる「F's Kitchen（エフズキッチン）」が県産食材の魅力を凝縮したメニューを提供。萩春朋さん㊧と鈴木伸明さんは「出来は100点」と笑顔を見せた

島サミットに出席した安倍晋三首相らを見送った後、JR湯本駅前で記念撮影する「高校生応援隊」のメンバー。最後までサミット盛り上げに尽力した

太平洋諸国の現状など解説

東日本国際大でセミナー

いわき市で開催された第8回太平洋・島サミットの認定事業、一般公開特別セミナー「太平洋諸国と海洋政策」は18日、同市平の東日本国際大で開かれ、参加した市民や学生が太平洋島しょ国の現状や課題について学んだ。

地域の課題と解決策を学ぶ同大の経済経営学部の講座「地域課題解決学」の一環として特別に開催。市民や学生など約100人が参加した。東京都の海洋政策研究所主任研究員の小林正典さんが講師を務めた。

小林さんは、海洋汚染問題や漁業問題など太平洋島しょ国が抱える問題や展望について解説＝写真。参加者は真剣な表情で小林さんの話に聞き入っていた。